

□、資本家共は搾取階級としての地位を永遠にツツケルため
 には戦争も辭せずとして、軍備を増強し、利益をツツケ取
 つてゐるか一方労働者の生活は向上したであらうか、勞
 働者の賃銀の動きと、物價の値上りとを比べてみると

	定額賃銀	實收賃銀	小買指數
七年平均	八八、一	八八、一	六九
八年平均	八五、一	八九、二	七三

右の如く物價は七年から八年に四上つてゐるのに、實收
 賃銀は一、一上つてゐるにすぎない。物價の値上りと實
 收賃銀との差があることは結局労働者の賃銀が切り下げ
 られたのと同様であつて労働者の生活は苦るしくなつてゐ
 ることになる。従つて労働者は生活ヨウゴの闘争に起ち
 上つてゐる、之を争議についてみると、

七年一九二八件九萬八千八百五十人 八年二〇三八件十萬千六百六十一人
 昭和八年に於て争議の件数が減つてゐるのは、非常時の
 輿名の下に労働者は眠りこませられ、また單なる生活擁
 護闘争に留してさへ、資本家階級の慘忍なる彈壓が下さ
 れ勝ちによるものである。尙ほ争議件数のうち賃銀値上
 を中心とする、要求闘争は七年の三五四件から八年の五
 〇七件に及んでゐるか之は會社の利益が増したにも拘は
 らず、不況を理由にオンツケもれてゐた。非人間的な安
 い賃銀をそのままにスエオコウトするドン慾な資本家に
 對する労働者の生活防衛の正當な要求闘争である。

労働者の賃銀が騰らないのは何故かと言ふに、今に四
 十萬人（役所の統計であるから備用することのできない
 ものではあるか）の失業者が飢と寒さに街頭に裸サラサ